

令和 3 年 7 月 9 日

羽曳野市議会議長 様

会派名

代表者名

議員名 樽井 佳代子



（ 令和 3 年度 第 1 四半期 ） 政務活動費収支報告書

羽曳野市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、政務活動費の交付の対象となる政務活動に要した収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入

交付済額 0 円

2 支出

項目	金額	政務活動費を充てた主な経費	第1四半期から 第4四半期の合計金額 ※
調査研究費			
研修費			
広報費	99,000	市政報告だより	
広聴費			
要請、陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
計	99,000		

※第4四半期の実績報告を行う場合は、第1四半期から第4四半期の合計金額を記入すること。

(令和 3 年度 第 1 四半期) 政務活動費支出内訳書

会派名

経理責任者

議員名 樽井 佳代子

印



項目		広 報 費		
支払年月日	使 途	金 額 (円)	内 訳	添付書類番号
令和3年6月25日	市政報告だより	99,000	198,000円×1/2=99,000円	広報 - 1
(小計)				
合 計		99,000		

No

広報 - 1

様式第 8 号(第 6 条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	市政報告だより	
支出額	198,000円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地:) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ()
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	99,000円	
(按分: 50%)		
※別紙 見積書(2者)、合計請求書、請求明細書を参照ください		

領収証

No _____

令和3年6月25日

樽井 佳代子 様

金額

¥ 198,000 -

但し 市政報告作成代

上記金額正に領収いたしました

振 者	
--------	-------------------------------------------------------------------------------------

PUT UP

 株式会社 プットアップ・スタイル
 〒610-0101 京都府城陽市平川横道8
 Phone.0774-53-5300 Fax.0774-53-21


※1 ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。

キャッシュサービスご利用明細

毎度ありがとうございます。
お取引内容をお確かめのうえ、
お持ち帰りください。

取引銀行	取引店	口座番号	
振込	振込	振込	
取扱店	お取引日	時刻	
振込	03-06-25	15:05	
お取引内容	お取引金額(円)	手数料	
振込	¥198,000	¥440	
お取引後の残高(円)		おつり	
*****		おつり	
生体認証			

お 受 取 人	お振込明細またはご案内		電信
	カ)フットアツフ°スタイル様 登録番号 0001 タルイ カヨコ様		
ご 依 頼 人	電話番号 0729-56-5600		印紙税申告納 付につき東 税務署承認済
	取扱番号 300185		

*印紙税を納付しない場合は*印で消しております。 →

樽井 佳代子 様

合計金額(税込)	198,000 円
----------	-----------

PUT UP

株式会社 プットアップ・スタイル

〒610-0101 京都府城陽市平川横道
Phone 0774-53-5300 Fax 0774-53-5301
関東office 千葉県船橋市海神五丁目2-106



品名・仕様	数量	単価	金額(税込)
ニュース(市政報告) B4 コート110k 4c/4c 巻き4ツ折り	15,000	12.00	180,000
以下余白			
小計			180,000 円
消費税			18,000 円

備考

振込先

御見積書

令和3年5月21日

樽井佳代子様

毎々格別のお引立にあずかり有難うございます。
下記のとおり御見積申し上げますので何卒
ご下命賜りますようお願い申し上げます。

アンドアート株式会社
〒610-0354 京都府京田辺市山手南
TEL 0774-53-5300 / FAX 0774-53-2122

担当者

合計 214,500円(消費税込み)

有効期限:1ヶ月

品名	数量	単価	金額
●市政報告	15,000枚	@13.00	195000
B4 コート110k 両面カラー 巻き4つ折り			
以下余白			
小計			195000
消費税			19500

備考 ※選挙運動用ポスター、ビラ、自動車賃貸借の公費請求は、別途選管に請求させていただきます。

TIV
total invoice

合計請求書

2021年6月分

伝票枚数 1枚

PUT UP

株式会社 プットアップ
〒610-0101 京都府城陽市平野
Phone 0774-53-5300 Fax



樽井 佳代子 様

繰越残高(税込)	調整額	お買上げ額(税込)	内消費税	合計ご請求額
		円 198,000 円	18,000 円	198,000 円

上記の通りご請求申し上げます。なお、当請求書と行き違いでお支払いの節はご容赦ください。

振込先



IV
invoice

請求
明細書

樽井 佳代子 様

PUT UP

株式会社 プットアップ
〒610-0101 京都府城陽市平野
Phone 0774-53-5300 Fax



納品日	品名・仕様	数量	単価	金額(税込)
2021/6/14	ニュース B4 CT110k 4/4 巻4折	15,000	13.20	198,000



[発行者] 樽井佳代子 羽曳野市西浦5-627-3 TEL (072)956-5600

「論より証拠」 現場第一主義!

市議会議員として、羽曳野市政に携わり、五期二十年を迎えることとなりました。

この間、多くの市民の皆様から叱咤激励をいただきながら、羽曳野市の発展に誠心誠意、努めてまいりました。引き続き、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が発生し1年余りが経過いたしました。ワクチン接種がようやく始まり、一刻も早く感染拡大が終息することを願っています。もうしばらくは感染防止に努めていただきますようお願い申し上げます。

また、我が国の急速な人口減少と少子高齢化は避けることのできない喫緊の課題となっています。その傾向は、本市においても例外ではなく、より一層の進行が予想される中、基礎自治体として地域の特性を活かした持続可能な発展をめざす“地方創生”が求められています。将来、全国自治体の約半数が消滅する可能性があると言われており、自治体間競争が避けては通れない時代を迎えています。

このような状況を踏まえて、当市では、人口減少社会に適切に対応し、まちの発展を支えていくため、「羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、当市の豊かな自然や歴史、文化的な資源を活用し、個性や魅力を高めていくこととしています。

また、平成28年度に策定いたしました「第6次羽曳野市総合基本計画」については、5年が計経過し、令和3年度より後期計画がスタートしました。まちの将来像である「人、自然、歴史文化を育み笑顔輝くはびきの～みんなでつくるだれもが住みたいまち」の実現をめざして取り組んでまいります。

いずれにしても、まずは何よりも大切なのは、子どもたちの未来です。妊娠から出産・子育てにいたるまで切れ目のない支援が求められています。子どもたちが健やかに成長し、子育て世代が魅力を感じられるまちづくりを進めてまいります。

また、市民がよりよい日常生活を続けるには、健康であることが何より大切です。健康を自ら意識することが重要であり、市民の皆様が気軽に健康づくりに取り組める環境づくりに引き続き努めてまいります。

市民誰もが住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らせるよう高齢者、障害者はもとより市民一人ひとり地域で見守り、支え合う地域福祉のまちづくりを進めて行かなければなりません。

“未来に子どもたちが夢や希望をもてるまち”、“誰もが健康でいきいきと暮らせていけるまち”そんなまちづくりを進めてまいりたいと存じます。

そして、市民の皆様には、本市は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と日本遺産「竹内街道」のあるまちとして、これまで以上に、羽曳野のまちに“愛着と誇り”を持っていただきたいと願っています。

「訪れてみたい」、「住んでみたい」、「ずっと住み続けたい」そんな羽曳野のまちとなるよう、これからもしっかりと取り組んでまいりたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症の早期終息を願いながら、新しい日常スタイルのもと、健康、安全・安心、快適な生活ができるように取り組んでまいります。

私は、今後とも、“論より証拠”、現場第一主義をモットーに、「信頼に基づく市民とともにつくるまちづくり」を推し進めるため、精一杯頑張っております。

羽曳野市議会議員 樽井佳代子

コロナと闘うすべての人に
「感謝」と「エール」を



たるいかよこ 樽井佳代子 プロフィール

- 昭和29年4月18日 元羽曳野市議会議員 田中みなの長女として羽曳野市西浦に生まれる
- 昭和50年 園田学園女子大学短期大学部卒業
- 平成13年9月 羽曳野市議会議員 初当選

主な役歴 羽曳野市議会議員(第54代・第62代)、羽曳野市議会副議長(第47代)、羽曳野市監査委員(2期)、柏羽藤環境事業組合議会議長、総務文教常任委員会委員長(2期)、民生産業常任委員長(1期)、建設企業常任委員会委員長(5期)、西浦町会顧問などを歴任

趣味 読書、文学散歩、乗馬、卓球



令和2年第4回 12月定例会 一般質問

子育て支援・学校教育の促進について

Q1 ①0歳児から2歳児の「保育無料化」について、令和3年度以降も継続予定か。
 ②子どもたちがボール遊び出来る場所の整備の具体的な考えは。
 ③中学校全員給食の実施方法は。
 ④小学校給食無償化、中学校給食の半額負担、保育園給食費の無償化の令和3年度以降の考えは。

A ①保育料無償化の実施は難しいと判断している。保育園給食費の無償化は今後の検討課題である。
 ②(仮称)タカキタフラワーガーデンでボール遊びができる整備を調整中である。
 ③出来る限り早期の中学校給食全員喫食を実現する。
 ④4月以降の小学校給食無償化、中学校給食半額補助は今後検討してまいりたい。

Q2 小学校給食センターの新築移転の状況と今後の予定は。

A 中学校給食を含めた中での再検討が必要であると考えている。

総事業の見直しについて

Q1 ①浅野家住宅整備工事の進捗状況は。
 ②公立幼稚園・保育園の統廃合と民営化の考えは。
 ③高齢者の移動支援の考えは。
 ④市役所本庁舎の耐震化の考えは。

A ①現時点で、具体的なスケジュールを示すことは困難。今後、議会、地域にお示しする。
 ②保育園・幼稚園の統廃合、民営化については、民間活力の導入も視野に入れる。
 ③高齢者のお出かけ支援は、引き続きニーズに対応する。
 ④市役所本庁舎は建て替えの方向で検討している。

Q2 市長が最初に手がけたい事業は何か。この任期中に一番やり遂げたいことは何か。

A 公約に掲げた7つの柱に基づき、施策を推進していく。



たるいかよ (一般質問)

要望

令和3年度の予算編成に向けて、新たな施策を含めた子育て支援施策の充実を図られるように要望する。公共施設等総合管理計画の改定について、事前に議会に示し、計画を早急に策定することを要望する。

令和3年第1回 3月定例会 一般質問

子育て支援・学校教育の充実について

Q1 ①なぜ「就学前教育・保育のあり方」に関する基本方針の見直しが必要となったのか。
 ②市立学校のあり方について、教育委員との議論や検討するための協議会の設置はどうなっているのか。
 ③オンライン授業が実施できる環境は整備できたのか。

A ①想定していた以上に公立幼稚園の園児数の減少が著しく、集団での教育が難しくなってきたため。
 ②意見交換は今後議論する予定となっている。
 ③令和3年度の早い時期に試行するなど準備を進めている。

Q2 新たな「就学前教育・保育のあり方」に関する基本方針の策定時期は。

A 令和3年度の早い時期に素案を取りまとめ、令和4年度の入園受付までには示したい。

行財政改革の推進について

Q1 ①旧浅野家住宅の整備はどういう取組を行うのか。また、恵我ノ荘駅前南側広場整備検討業務は、どのような検討がされ、どういうことが課題となっているのか。
 ②市長が目指す議論開発の気風を作るため、具体的にどのような取り組みをされているのか。また、人材の育成にこれまでとは違う効果的な取組が行われているのか。副市長、教育長の役割をどのように認識しているのか。

A ①旧浅野家住宅については、事業運営や施設整備のあり方について検討する。恵我ノ荘駅前南側広場については、歩行者空間や道路線形、規模や事業費などを検討する。
 ②市長へ直接送信できるメールの設定や提言ボックスを設置、様々な研修によるスキルアップなどに取り組んでまいりたい。副市長は市長を補佐し、具体的に事務分担任している。教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保するため、教育委員会は市長から独立した行政委員会であり、教育長が具体的な事務を執行する。

新型コロナウイルス感染症に対する市独自施策について

Q1 令和2年度に実施した事業はどのようなのか。また、新たに実施する市独自施策はあるのか。

A 令和3年度に継続する事業とはなっていない。また、新たな独自施策は検討しているところである。



要望

市長と教育長が意思統一することが何より切実な問題である。保護者や地域、多くの関係者の意見をよく聞き、将来を見据えて計画的に進めることを強く要望する。デジタル化を推進していくべきである。一方、二重投資とならない効率的な施設運営が必要である。行財政改革の推進は、市長、副市長、教育長の英断が何より重要。市民、職員の見解も聞いた上で事業の選択と集中を要望する。PCR検査の費用負担なども生じている。市民、企業への新たな必要な支援を検討され、必要な時期に実施できるよう取り組まれない。



たるいかよ (一般質問)



コロナワクチン摂取の予行練習視察



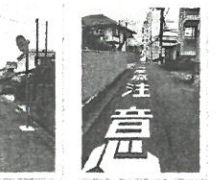
西浦校区親交会総会



一般質問にて



議会にて



注意



ミラー設置と交差点注意の路面標示